

Disaster prevention Expert News

# 東北地方 防災エキスパートだより

2018.11 vol.47

発行:平成30年11月19日(月) 東北地方防災エキスパート事務局 TEL.022-268-4611 〔(一社)東北地域づくり協会内〕

がんばろうし東北



# 平成30年度 TEC-FORCE活動報告

東北地方整備局では、今年、大阪北部地震、西日本記録的豪雨(7月豪雨)、北海道胆振東部 地震において、各地へTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を広域派遣し、被災状況の把握や 技術的支援等を行ってきました。

現在までのTEC-FORCEの活動状況についてご紹介します。

# 平成30年6月 大阪北部地震

■発生時刻

6月18日 7時58分

■最大震度

6弱

■ マグニチュード

: 6.1(暫定値)

■ 場所及び深さ

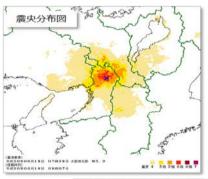
大阪府北部 深さ13km(暫定値)

■ 地震の活動状況

: 7月2日17時00分現在、震度1以上を

観測する地震が43回発生

震度	発生回数
最大震度6弱	1
震度4	1
震度3	5
震度2	11
震度1	25







ブロック塀の倒壊(大阪府高槻市)

水道管破裂による道路陥没(大阪府高槻市)

### ・般被害情報(7/2時点)

**死者 4名** (大阪市 1名、高槻市 2名 茨木市 1名)

### **負傷者 428名**

(重傷 15名、軽傷 413名)

### 家屋全壊 6棟(住家)

家屋半壊 57(住家)

### 家屋一部損壊 23,544棟(住家)

- 高槻市 最大で19.4万人(8.6万戸)に影響 箕面市 最大で 2万人(0.8万戸)に影響
- ·都市ガス 最大111, 951戸 停止
- 大阪府(大阪市消防局) 火災3件 兵庫県 (尼崎市消防局) 火災4件

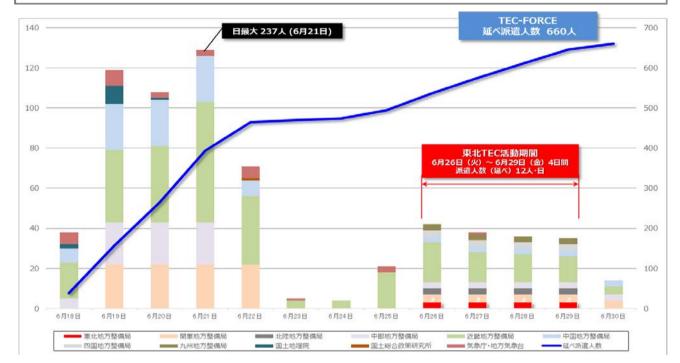
- TEC-FORCE被災状況調査班 [建築物応急危険度判定] は、1 班(3名) 体制で大阪府高槻市へ派遣。
- 派遣期間は、6月26日(火)~29日(金)の4日間(延べ12人・日)



### [今回の派遣ミッション]

### 被災状況調査班(建築物応急危険度判定)

- ・高槻市からの要請を受け、市内にある公共施設のブロック塀の安全度を調査する。
- ・調査報告書を28日を目処にまとめ、高槻市長へ報告する。
- TEC-FORCEの派遣人数は、延べ660人・日(7市町村)
- 派遣機関は下記の8地整及び国土地理院・国土総合政策研究所・大阪管区気象台
- ■ 活動場所は、 2府1県6市1町、2土木事務所 (大阪府庁、京都府庁、兵庫県庁、大阪市、高槻市、牧方市、箕面市、茨木市、 寝屋川市、島本町、牧方土木事務所、池田土木事務所)











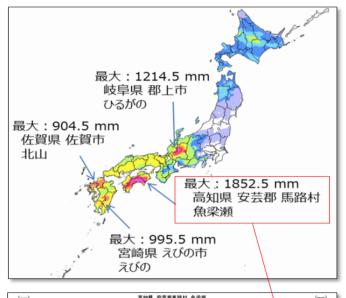


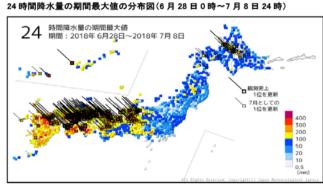
大阪府高槻市のブロック塀の調査 (平成30年6月28日 撮影)

# 平成30年7月 豪雨

### 西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨

- 6月28日以降、前線や台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給 され続け、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、6月28日から7月8日ま での総降水量が、四国地方で1800ミリ、東海地方で1200ミリを超えるところがあるなど、7月 の月降水量平年値の2~4倍となる大雨となりました。
- これらの影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、死者、行方不明者が多数とな る甚大な災害となり、全国各地で断水や電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、 鉄道の運休等の交通傷害が発生しました。





高知県 安芸郡馬路村 魚梁湖 2000 1時間降水量(左目盛り) 1800 **総隆水量(右目盛り)** 1600 平年値(7月降水量 右目盛り) 1400 1200 1000 7月の月陰水量平年値:591.5 600 200

■人的・物的被害の状況 (消防庁情報:平成30年8月7日現在)

人的被害			住家被害				非住家被害		
死者 (人)	行方不明者 (人)	負傷者 (人)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)	公共建物 (棟)	その他 (棟)
220	10	388	5,443	6,597	3,249	11,544	20,646	8	68

■道路・河川・土砂災害・鉄道の被害状況 (国土交通省情報:平成30年8月7日現在) 東九州道 (上下線) 椎田南IC〜豊前IC L=7km (8月解除見込み) 広島呉道路 (上下線) 坂北IC〜呉IC L=13km (11月解除見込み) 高速道路 直轄国道 被災による通行止め無し 道路 公社有料 被災による通行止め無し 補助国道 17路線20区間 通行止め 都道府県·政令市道 309区間 通行止め 直轄河川 2.2 水系 4.7 河川 3.6.5 箇所 浸水家屋数 (床上·床下 合計約1.2.000戸) 河川 都道府県管理河川 68水系 223河川 浸水家屋数 (床上·床下 合計約23,000戸) 土砂災害 1,574件(土石流等: 480件、地すべり52件、がけ崩れ1,042件) 鉄道 9事業者 16路線 運転休止 (JR貨物含む)





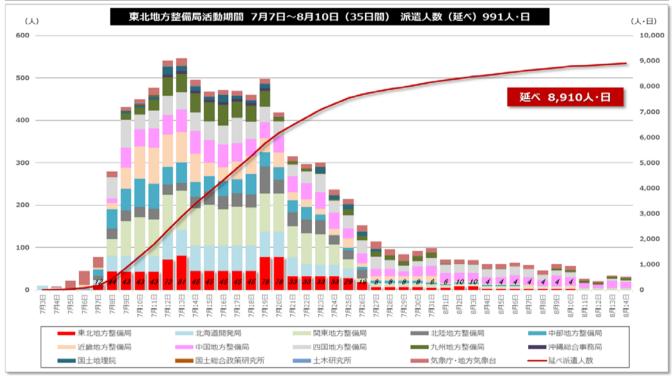


内閣府HP 防災情報のページより

### ■東北地方整備局のTEC-FORCEは18市町村で活動を展開。



■ 全国から被災地に駆けつけたTEC-FORCE隊員は延べ約8,900人に及ぶ ※8月14日時点







▲ 排水ポンプ車稼働状況(岡山県倉敷市) (中国地整 7月8日)



▲ 4地整合同(中国・東北・関東・中部)による 全体ミーティング(7月9日 岡山国道事務所にて)



▲ 広島市の土砂災害現場での調査(中国地整7月9日)

# 平成30年9月 北海道胆振東部地震

## 地震の概要

■ 検知時刻

9月6日03時08分(最初に地震を検知した時刻)

発生時刻

9月6日03時07分(地震が発生した時刻)

■ マグニチュード 6.7(暫定値)

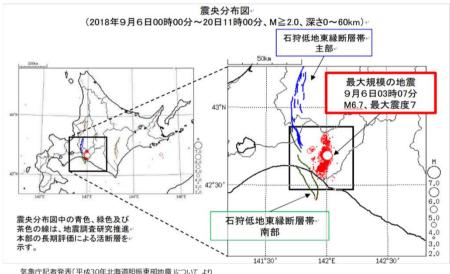
■ 場所及び深さ 胆振地方中東部、深さ37km(暫定値)

■ 発震機構

東北東・西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報)

■ 震度

震度7	北海道厚真町(厚真町)
震度6強	北海道安平町(あびらちょう)、北海道むかわ町
	北海道千歳市(ちとせし)、北海道日高町(ひだかちょう)、北海道平取町(びらとりちょう) 他移動札幌市東区その他、北海道から中部地方の一部かけて震度5強~1を観測





気象庁記者発表「平成30年北海道胆振東部地震」について より

■人的・物的被害の状況 (平成30年9月25日現在)

内間原HP 防災情報のページより

人的被害		住家被害			重要施設被害	
死者 (人)	負傷者 (人)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部損壊 (棟)	室蘭市の石油コンピ ナート施設(新日鐵	厚真町の火力発電所 施設 (苫東厚真火力
41	689	156	434	4,068	住金(株)室蘭製鐵 所)で火災1件発生 9月6日10:26鎮火	発電所)で火災1件 発生 9月6日10:15鎮火

■道路・河川・土砂災害・鉄道の被害状況 (内閣府情報:平成30年9月25日現在)

内間府HP 防災情報のページより

	区分	内容		
	停電	最大停電戸数:約295万戸 (9月6日 03:08時点)		
ライフライン	断水	北海道内の45市町村において最大 57,138戸		
	都市ガス	被害なし		
	高速道路	被災なし		
道路	直轄国道	被災なし		
	道道·政令市道	北海道 9 区間(土砂崩れ7 区間、橋梁損傷2 区間) 札幌市 1 区間(液状化1 区間)		
河川	直轄河川	3水系6河川32箇所(全箇所対策完了)		
都道府県管理河川		6水系7河川		
土砂災害		57件(土石流等:24件、がけ崩れ33件)		
鉄道		4事業者 2 6 路線 運転休止		

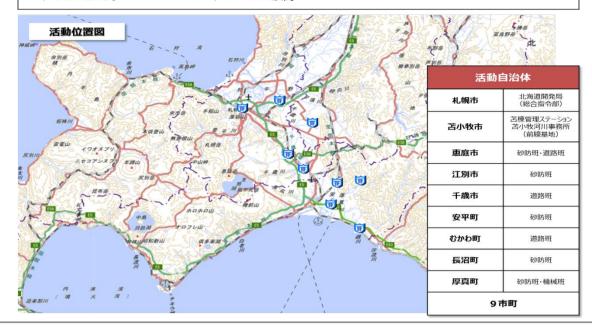




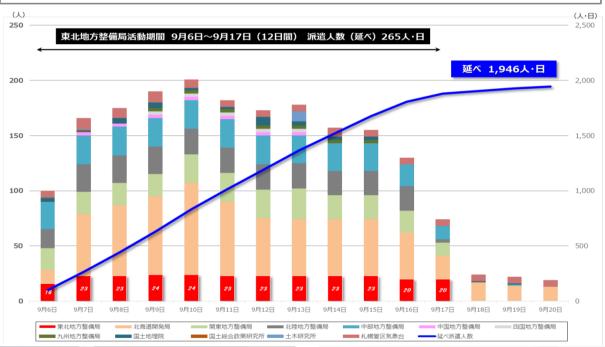
▲北海道厚真町幌内地区の斜面崩落 (平成30年9月6日 国土地理院撮影)

▲ 北海道札幌市内の液状化 (平成30年9月7日 東北地整撮影)

#### ■東北地方整備局のTEC-FORCEは9市町で活動を展開。



■ 全国から被災地に駆けつけたTEC-FORCE隊員は延べ約2,000人に及ぶ ※9月20日時点













▲石井国土交通大臣とのテレビ会議 (9月8日撮影)

# 平成30年度 7月~9月 防災エキスパート活動状況

平成30年7月~平成30年9月は、平常時138名、災害時13名のエキスパートの方々に活動していただいております。

# 災害時

県別	活動月	活動内容	活動場所	出動人数	備考
青森	8月	8月16日岩木川及び馬淵川の洪水に伴う防 災エキスパート活動	青森河川国道事務所 藤崎出張所/八戸出張所	2	
		8月5日最上川の洪水に伴う防災エキスパート 活動	山形河川国道事務所 新庄国道維持出張所 新庄河川事務所 酒田河川国道事務所	5	
山形	8月	8月16日最上川の洪水に伴う防災エキスパー ト出動	新庄河川事務所 鳥越出張所	1	
		8月31日~9月2日最上川の洪水に伴う防災エ キスパート出動	新庄河川事務所 酒田河川国道事務所	5	
	7 月	~ 9 月 災 害 時 活 動	合 計	13	人·日

# 平常時

県別	活動月	活動内容	活動場所	出動人数	備考
	7月	馬淵川•岩木川重要水防箇所合同巡視	青森河川国道事務所 五所川原出張所/藤崎出張所/八戸出張所	29	
		堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	青森河川国道事務所 八戸出張所	1	
		岩木川災害時検討会	青森河川国道事務所	2	
青森		堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	青森河川国道事務所	2	
		堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	青森河川国道事務所	3	
	8月	岩木川船上巡視	青森河川国道事務所 藤崎出張所/五所川原出張所	5	
		平成30年 総合防災訓練	青森河川国道事務所 八戸出張所 高瀬川河川事務所 小川原湖出張所	4	机上訓練
県別	活動月	活動内容	活動場所	出動人数	備考
岩手	7月	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	岩手河川国道事務所	4	
石子	8月	平成30年度 総合防災訓練	三陸国道事務所 大船渡維持出張所	2	机上訓練
県別	活動月	活動内容	活動場所	出動人数	備考
	7月	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	北上川下流河川事務所 米谷出張所	2	
		堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	仙台河川国道事務所 北上川下流河川事務所	5	
宮城		防災エキスパート意見交換会	仙台河川国道事務所	7	
	8月	平成30年 総合防災訓練	仙台河川国道事務所 岩沼出張所/角田出張所/名取川出張所 仙台海岸出張所 北上川下流河川事務所 鳴瀬出張所	5	机上訓練

県別	活動月	活動内容	活動場所	出動人数	備考		
	7月	重要水防箇所合同巡視	秋田河川国道事務所 子吉川出張所	1			
		堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	湯沢河川国道事務所	2			
秋田		平成30年 総合防災訓練	湯沢河川国道事務所 大曲出張所/大曲国道維持出張所 能代河川国道事務所 ニツ井出張所/鷹巣出張所 鳴海ダム工事事務所	6	机上訓練		
		平成30年度 米代川堤防決壊時緊急対策検 討会	能代河川国道事務所	2			
	9月	雄物川・子吉川の堤防徒歩点検	秋田河川国道事務所 (子吉川出張所)	2			
県別	活動月	活動内容	活動場所	出動人数	備考		
		大規模土砂災害危機管理演習	山形河川国道事務所•新庄河川事務所	4			
	7月	平成30年度 重要水防箇所合同巡視	山形河川国道事務所•新庄河川事務所	2			
		堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	山形河川国道事務所/長井出張所 酒田河川国道事務所	8			
	8月	最上川総合水防演習検討会	山形河川国道事務所	6			
山形		8月		TE-POOFE WAS PLACE BUSINESS	山形河川国道事務所 寒河江国道維持出張所/米沢国道維持出張所 寒河江出張所 酒田河川国道事務所 酒田出張所/赤川出張所/飽海出張所	14	実出動
			平成30年 総合防災訓練	酒田国道維持出張所/鶴岡国道維持出張所 月山国道維持出張所 新庄河川事務所 鮭川出張所 最上川ダム統合管理事務所 白川ダム管理支所/長井ダム管理支所 月山ダム管理所	4	机上訓練	
県別	活動月	活動内容	活動場所	出動人数	備考		
福島	8月	平成30年度 総合防災訓練	福島河川国道事務所 伏黒出張所/郡山出張所/栗子国道維持出張所 東北中央道維持出張所/郡山維持出張所 会津若松出張所 磐城国道事務所 平維持出張所 摺上川ダム管理所 三春ダム管理所	16	机上訓練		
	7 月	~ 9 月 平 常 時 活 動	合 計	138	人・日		



▲8月29日岩木川船上巡視 【青森河川国道事務所】



▲8月5日最上川の洪水に伴う防災エキスパート出動 【新庄河川事務所】

# 災害対応

# H30.8.5 豪雨に伴う防災エキスパート出動

# 1. 気象概要

前線の影響により8月5日午後から最上川中流部の山形県新庄・最上地方で非常に激しい降雨となり、累加雨量は300mmを超過。古口、平根雨量観測所では既往最大の雨量を観測し、最上川の古口水位観測所では氾濫危険水位を超え、最上川支川の鮭川の岩清水水位観測所では既往最大の水位を記録しました。

この豪雨により、山形県3市5町2村で避難指示・避難勧告が出され浸水家屋は225戸、最上川では溢水・内水が4地区で発生しました。

## 2. 活動内容

山形県内の事務所からの出動要請があり、延べ5名の防災エキスパートの方々が活動されました。 このうち、新庄河川事務所と酒田河川国道事務所に出動していただいた2名の防災エキスパートの 方々から、報告をいただきましたのでご紹介します。



蔵岡内水被害状況 【新庄河川事務所】



法崩れによる被害状況 【山形河川国道事務所】

平成30年8月 最上川洪水の防災エキスパート出動報告 みちのくコンサルタント(株) 近岡 信一

最上川では8月6日(前線)、8月31日(秋雨前線)の短期間で2回の出水がありました。私がこの2回防災エキスパートとして活動しましたので報告します。

### 8月6日洪水

私の住居は鮭川支川真室川に近接しており、過去には昭和50年8月6日に通称「真室川8月6日水 害」に見舞われた地区で、降雨に対しては常に敏感です。

今回も数日前から気象庁の予報に注意していて、前線が当該地区へ停滞する見込みで降雨強度 予測が「赤及び紫」、これは大変と家族には今回は住宅浸水の可能性が大、避難指示が出るかも、覚悟をするように話をしていました。

予想どおり5日午後から降りだし、隣の屋根を見ると大粒の雨が降り、しぶきによってトタン上部が白い霧状になるほど雨の音しか聞こえない状況でした。

町の防災無線は聞き取れなく、情報の入手はテレビで、深夜に鮭川の水位が氾濫危険水位を超えたと防災情報が流れ、合羽を着て自宅近くの水位観測所に確認にいきました。避難判断水位到達まであと数センチのところで上流の観測所の水位が低下の情報があり一安心し、自宅に着き2時ごろようやく布団にもぐり込みました。 朝6時前に起床、携帯を確認したら5時に東北地域づくり協会山科山形支所長の着信履歴あり、電話したところ予想どおり「7時まで新庄河川事務所への防災エキスパート要請」で直ちに事務所に向かいました。

途中、道路法面から土砂崩落多数あり、近年このような被害がなかったことから今回の豪雨被害の大きさを予感しながら事務所へつきました。事務所には既に山科支所長が参集出動しており情報収集を行っていました。

事務所の対策本部は情報収集、集約、情報提供、報告などで人員の余裕なし、そこで防災エキスパートに出動要請したようです。

対策本部は蔵岡地区の内水氾濫とその排水作業等状況の把握を優先していたが現場では家屋浸水等地元住民対応で人員が不足し、思うように情報や指示が伝達しにくい状況、そこで、山科支所長と私で現地で内水氾濫や排水状況の把握を要請され現地に到着しました。そこには、多くのマスコミ関係者や、テレビ中継車が陣取っていた。当ヘルメットには「防災エキスパート」と記載があったため(国土交通省ではなく)幸いに、取材されなくスムーズに状況把握ができ本部へ情報提供を行い、また、効率よい排水を行うため複数のポンプ車の内1台を移動させ排水を行ないました。

浸水家屋の内水排除は地域住民が最も関心度が高いため適切な内水排除が必要です。

その後、事務所へ戻り本部へ報告。今度は最上川左岸古口地区堤防法崩れの緊急復旧工法の検討会。短時間で工法を決定する必要があり、過去の実務経験から大型連接ブロック張工を提案し決定しました。

今度は鳥越出張所へ応援要請を受け、いざ出張所へ。管理第2係長(旧技術係長)が併任のため、 出張所職員は出張所長、管理第1係長の2名のみ、これでは通常業務でも大変なのに災害時対応は ?交代要員は?と思いつつ、在職時代の技術係長経験を思い出しながら「樋門・樋菅操作時の管理 ボードへの書込み」「現地状況把握員からの情報取りまとめ及び出張所長への報告」「出張所長から 事務所へ現地状況報告方法の助言」「現地状況の事務所定時報告内容の作成」など行いました。

### 8月31日洪水

秋雨前線の影響により8月31日午前から山形県の日本海側で激しい降雨となり累加雨量は多いところで200mmを超過。鮭川村にある庭月雨量観測所で251mm、神田雨量観測所で235mmを観測し、最上川支川の鮭川では氾濫注意水位を超え、山形県では2市3町3村で避難指示・避難勧告が出され浸水家屋は44戸、最上川では前回と同じ地区の内水氾濫箇所を含め2地区で発生しました。

私は8月31日仙台市での会議を終え、JRが大雨で不通のためバスで新庄に向かっている途中、携帯電話で山科支所長から新庄到着後に事務所へ向かい情報収集するよう要請され、いざ事務所へ14時頃到着。対策本部では、ちょうど堤防護岸被災箇所の情報収集中で、被災箇所は鮭川支川泉田川0.5km右岸付近でした。

水衝部のため洗掘が助長されており、このままでは堤体崩壊の可能性があり緊急復旧が必要、復旧工法は、根固めブロック乱積み、間詰材(袋詰め玉石、岩ヅリ)投入で決定しました。(資材は全て備蓄材)

対策本部から鮭川出張所へ応援要請され出張所へ向かいました。鮭川出張所に着いたがメンバーが少ない、管理第2係長が欠員となっているらしい。これは大変、鳥越出張所と同じではないか。テレビ会議で緊急復旧工事は24時間で実施することに決定し、夜間は出張所長、日中は局TEC-FORCEと私の2人で担当することになりました。翌朝8時に現場到着、出張所長から引継ぎを行いつつ、現場を確認したら予想以上に工程が進んでいません。理由は被災箇所直上に架空線があり、ラフタークレーンが思い通りに資材を投入できないという理由でした。そんな中、局TEC-FORCEが到着、工程の遅延を説明し、工程を短縮する方法として瀬替えをしたらどうか提案しました。(現場は水衝部でドライ施工可能であれば川側から施工可)本部へ状況報告と提案依頼し、決定しました。ただし、瀬替えは現在河川水位が高く重機が河道に入れなく明日からの施工となりました。

私は9月1日、2日の両日現場担当し、3日15時に無事に事故もなく完了しました。(局TEC-FORCE、請負業者さん、共に知ってる方でしたので緊張感がありましたが、懐かしさもあり、「チーム緊急復旧」として応援させていただきました。)

最後に今回2洪水で思ったこと。

- 事務所、出張所、人員が少ない中、本局TEC-FORCEの応援もあって冷静に対応していた。
- 各自治体から事務所へ豪雨災害の様々な問い合わせや助言、指導を依頼され、直轄事務所としての役割を充分発揮していた。
  - 事務所の名称を、○○河川国道事務所、○○河川事務所 → ○○総合防災事務所へ変更したらどうでしょうか。
- ・ 水防団とは年1回重要水防箇所合同巡視を実施しているが、いざ洪水が発生した今回、地元水防団と連絡調整はどうだったのか検証したらどうでしょうか。
- ・幸い人的被害がなく安堵しているところですが、出水対応等の問題点に反省会等を行い、次回の 出水に備えることも重要かと思います。
- ・ 今後も、これまでの経験を活かし、事務所の応援隊の一員として、かつ、地域ボランティアとして貢献していきたい。

# 平成30年8月6日出水における防災エキスパート活動報告

(株)庄内測量設計舎 佐藤信男

私は、鶴岡市に居住していますが。8月6日の早朝になると自治体からの避難情報に関する緊急速報メールの自動受信が携帯電話にけたたましく鳴り響きました。支川での避難勧告でした。大事の様相であり布団の中で、何らかの要請があると思い心の準備は整っていました。

案の定、6日7時30分に(一社)東北地域づくり協会山形支所 山科支所長から防災エキスパートの出動要請が携帯に入り、9時までには酒田河川国道事務所に到着しました。

直ちに、河川管理課より最上川出水に伴う湧水2カ所の現地調査指示をうけ、工務第一課工務係長と出動。これまでの体験で高水敷を0.50m以上の水位となれば確実にどこかで漏水が発生していることから、相当の箇所が推定されました。



河川水位の状況調査



上流からの漂着物(船着き場桟橋)

現地では、堤防からある程度離れた田面での噴砂のような現象や気泡、湧水現象を確認し、写真及び動画を記録しました。なお、堤防川裏法尻付近からの漏水、湿潤、ハラミ、陥没は確認されませんでした。また、調査途中、地元水防団が巡回しており、漏水箇所への水防の重要性・必要性について説明させていただきました。







噴砂のような現象



気泡、湧水



水防団との情報交換



休耕田からの湧水(遠方は堤防)

過去になりますが、平成24年7月九州北部豪雨により直轄河川矢部川が基盤漏水により裏法の崩落の進行等から堤防決壊した実例があり、全国的に堤防緊急点検を実施してきました。

ここ、最上川下流では基盤漏水対策として川表堤防法尻に止水矢板を相当区間で施工しています。今回、実現象として堤防からある程度離れた田面での湧水現象であり、地元の水防活動が躊躇していたことから速やかに対応できるよう期待したいと思います。

現地を往来している間に河川水位の下降に伴い、気泡、湧水が縮小していることを確認し、事務所に戻り、災害対策支部に報告を行なったところであります。

なお、到着は13時以降であり昼食は事務所近くの食堂で済ませましたが、もちろん麺類の大盛りです。

今回の出水は、最上川河口部付近の下瀬水位観測所で氾濫危険水位を超え、計画高水位まで数 cmとなる出水であり、緊迫した状況下での防災エキスパート活動でありました。

私は、酒田管内の河川に延べ13年の経験OB及び現在の最上川下流及び赤川の専門巡視に携わり、現地にある程度精通していることも含め、現役の皆さんにボランティアとして協力し、地域の役に立てれば喜ばしい限りであります。

# 新規登録状況

8月から11月末までに新たに7名の方に防災エキスパートとしてご登録いただきました。

	氏名	登録県	登録事務所•出張所等
1	小倉 儀治	宮城	仙台河川国道事務所、岩沼国道維持(出)
2	佐藤 道也	宮城	仙台河川国道事務所、岩沼(出)、岩沼国道維持(出)
3	神 智範	青森	青森河川国道事務所、青森国道維持(出)、弘前国道維持 (出)、岩手河川国道事務所 等
4	村上 昌宏	宮城	釜房ダム(管)、仙台河川国道事務所
5	横山 孝臣	宮城	北上川下流河川事務所、大崎(出)、鹿島台(出)、飯野川(出)、米谷(出)、桶谷(出)、鳴瀬(出) 等
6	荒澤 慎一	山形	新庄河川事務所、湯沢河川国道事務所
7	矢口 祐一	山形	新庄河川事務所

# 「平成30年度 防災エキスパート意見交換会」 (平成30年7月~9月)

防災エキスパートの活動について、日頃からの連携強化を図る事を目的に意見交換会が行われました。

## ■ 仙台

開催月日:平成30年8月27日(月)

会 場:仙台河川国道事務所 大会議室

出 席 者:仙台河川国道事務所 8名

防災エキスパート及び事務局 7名

### 主な内容

- ・災害支援派遣(TEC-FORCE)について
- ・大規模出水に備えた河道管理について
- ・近年頻発する広瀬川の渇水の対応について (広瀬川環境導水の活用について)



### …★防災エキスパート事務局をご紹介します★…

昨年10月より、東北地域づくり協会福島支所で福島県内防災エキスパートの事務局の一員 を担っています。(自身もエキスパートの一員です。)

平成29年度は、エキスパートの皆様に平常時の活動として、福島河川国道事務所での意見交換会、船上巡視、堤防等施設徒歩点検、点検後反省会におけるご助言、また10月の台風21号や翌3月の出水時には、事務所や出張所に出動して頂き、ご支援ご指導を賜りました。今年度に入りましても、これまで福島河川国道事務所での出水期前堤防徒歩点検、重要水防筒所合同点検、意見交換会に延べ29名の方々に活動して頂いております。

自然災害が頻発する中、防災エキスパートへの期待は益々高まる一方です。事務局としましても、皆様方との速やかな連絡調整・密な連携を図ってまいりますので、今後ともご支援ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

福島支所 調査役 梁川 秀一



秋気が肌にしみる季節となりましたが、防災エキスパートの皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。防災エキスパートの皆様には、平常時の活動や 洪水対応にご協力いただき、誠に感謝申し上げます。引き続き、皆様のご支援ご 指導を賜りますようお願いします。

> 防災エキスパート事務局 (東北地域づくり協会 河川技術部)

TEL: 022-268-4611 FAX: 022-227-6344

E-mail:gijyutsukikaku@kyokai.or.jp